

2017年 環境活動目標・実績の取組結果とその評価

2017年12月22日 環境管理責任者 白井 佳子

	目 標	結 果	実 施 状 況	評 価	原 因	改 善 策
地球温暖化防止への取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気使用量 2016年比 1.0%減 エアコン 5,586kWh 電灯 10,414kWh 合計 16,000kWh</li> <li>ガソリン使用量 2016年比 2.1%減 950L</li> <li>二酸化炭素排出量 2016年比 1.0%減 10,461kg-CO<sub>2</sub></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気使用量実績 2016年比 8.5%増 エアコン 6,137kWh 電灯 11,225kWh 合計 17,361kWh</li> <li>ガソリン使用量実績 2016年比 1.2%減 938L</li> <li>二酸化炭素排出量実績 2016年実績より 5.1%増 11,136.0kg-CO<sub>2</sub></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空調設定の効率化及び温度設定の徹底(夏 28℃/冬 21℃)</li> <li>昼休み事務所内消灯の徹底</li> <li>クール・ビズの早期開始・終了延長(5/16～10/15)</li> <li>残業届により残業時間を管理(10月より)</li> <li>効率の良いルートでの外出・関与先訪問の徹底</li> <li>空調室外機設置状況の点検</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に繁忙期(1.2.3月)仕事量増が要因と考えられる</li> <li>9月末より所内メインの蛍光灯をLEDに変更するが使用量にそれほど影響なし</li> <li>新しい関与先やエコ運転にも慣れ効率よく関与先訪問ができています。</li> <li>節電への取組や意識は継続するものの、業務も増加傾向にあり電力量も増加。合わせて二酸化炭素排出量も増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>残業届を提出することにより業務の明確化・効率化をはかり、電力使用量削減を目指す</li> <li>クールビズの推進・延長</li> <li>屋内・屋外の気温測定</li> <li>空調温度の管理の再徹底(夏 28℃/冬 21℃)</li> <li>引き続き効率的なルートで外出・関与先訪問を心掛け、エコ運転を実践していく</li> </ul>
地球資源の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物量 2016年比 1.6%減 リサイクル 385.0kg 処分 155.0kg 合計 540kg</li> <li>紙使用量 2016年比 1.1%減 425kg</li> <li>水使用量 2016年実績 92 m<sup>3</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物量実績 2016年比 31%増 リサイクル 550.0kg 処分 171.0kg 合計 721.0kg</li> <li>紙使用量実績 2016年比 11%増 457.4kg</li> <li>水使用量 2017年実績 96 m<sup>3</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源ゴミ買取業者を利用しこれにより資源ゴミ分別の徹底</li> <li>職員は粉茶を使用し生ゴミを減少</li> <li>電子申告強化・メール配信等ペーパーレス業務の徹底の呼掛け</li> <li>両面コピーを再度徹底強化</li> <li>不要なプリントアウトを自粛</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクル量が増加傾向だが、資源ゴミとして分別の徹底</li> <li>関与先増加に伴い業務量が増加傾向にあることから、紙使用量も増加</li> <li>機密情報取扱いにつき、裏紙利用を完全にやめたため、減少は困難であった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不要な紙類は、シュレッダーを利用して古紙として分別資源ゴミへ</li> <li>不要なDMなどの返却・拒否</li> <li>生ゴミ削減のため粉茶を使用</li> <li>両面印刷機能付コピー機を導入し両面コピー印刷の活用</li> <li>各使用量調査の回覧再徹底</li> <li>多忙な時期でも、一人一人が意識することで、減少へつながる</li> </ul>
環境意識向上と情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページにてエコアクションの情報を発信</li> <li>外部講師を招き環境について勉強会を開催し内容を発信</li> <li>グリーン商品購入の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各職員が実施しているエコ活動をわかりやすく紹介</li> <li>実務が多忙で実現が困難であった</li> <li>グリーン商品購入金額の割合 月平均 68%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各職員が日常の中で発見したり取り組んでる小さなエコ活動を画像を交え発信</li> <li>実施できず</li> <li>プリンター等のインカートリッジを再利用に出す</li> <li>古本を目の不自由な方々の為の点字図書等の製作に役立てるプログラムに参加</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>若く新しい顔ぶれも増え個性あふれるエコ活動を掲載することができた。</li> <li>年間を通じ、実務が多忙傾向にあり実現は困難であった</li> <li>購入先業者による使用済みインカートリッジ回収サービスを利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページをさらに活用し環境情報を発信していく</li> <li>所長も自身のブログにて環境情報を発信</li> <li>全員参加を目標とする</li> <li>今後もこのような環境を考えたサービスを活用していきたい</li> </ul>

平成 24 年度中部電力の実排出係数 0.516 kg-CO<sub>2</sub>/kWh を適用 (平成 25 年 12 月 19 日 環境省公表)